



恐竜の絶滅と私たちにできること

びっくり!! 長崎はたくさんの恐竜の化石が発掘されているんだって! みんな知っている?



でも、恐竜と地球温暖化って何か関係あるのかな...? 中谷先生に聞いてみよう!



8100万年前の長崎



長崎市恐竜博物館準備室 学芸員 中谷 大輔 先生

今から8100万年前の長崎市には、10mをこえる大きさのティラノサウルスの仲間や植物を食べるハドロサウルスの仲間など、今では見ることができない生き物がたくさんいました。しかし、6600万年前に地球に落ちてきた隕石がきっかけで、そんな生き物がいなくなりました。この時は隕石が落ちて地面に大きな穴ができ、そこにあったはずの岩石が小さな塵になって、空で太陽の光をさえぎるカーテンのようになったのです。



恐竜の化石の発掘場所

太陽の光が減ると気温が下がり、植物が育たなくなります。

植物が育たないと植物を食べる生き物がなくなり、それを食べる肉食の生き物もなくなります。そうやって、急に環境が変わったので、恐竜のような強くて大きな生き物があつという間になくなりました。ただ、恐竜の運がよかったのが、一部の小さな仲間がいろんな場所で生活できる能力を持つ鳥へと進化していたので、かろうじて生きのびることができました。



今、わたしたちは便利な生活をするために、二酸化炭素などの温室効果ガスを次々につくりだして、地球の気温を上げてしまっています。このままだと、環境が急にかわってしまい、たくさんの生き物にとって生きづらくなってしまいます。恐竜が鳥になったように、姿をかえ、新しい力をもつことはとても難しいことです。ただ、わたしたちは考え方をかえ、変化を遅らせることはできます。便利な生活ばかりではなく、どうしたらいろんな生き物にとって生きやすい環境になるのかをみんなで考えていきましょう。



大昔の生き物や地球の歴史を知ることができる「長崎市恐竜博物館」が長崎市の野母崎地区にできるんだよ! 楽しみだね!



サステナ HP で動画配信予定! 見てね♪



2021年10月 野母崎地区に 長崎市恐竜博物館 オープン